

地本業務ニュース

JR 東海労・静岡地方本部

NO.8 2011年11月19日発行者：JR東海労静岡地方本部 山本繁明

台風15号による被害状況 及び労働条件について！！

11月18日、地本は上記の案件「申3号」について業務委員会を開催し、身延線の復旧状況及び乗務員の労働条件について回答を求めました。10日に本部・本社間で回答を得ていますが、この件は身延線に従事する静岡地本の仲間(富士運輸区)の問題であり、今後の対策を踏まえて議論しました。内容は以下のとおりです。

1. 「台風15号」による支社管内の被害状況を明らかにすること。

【回答】 運行に関する鉄道設備等への被害状況は、身延線において橋梁・橋台裏洗堀(市川本町～芦川駅間)や身延駅構内冠水、土砂流入(西富士宮～沼久保駅間)、盛土崩壊(内船～甲斐大島駅間)など、計95か所の被害が発生した。尚、東海道線・御殿場線においては鉄道設備等に被害は無かった。車両については、河川の氾濫により身延駅構内に留置していた313系車両3編成7両が浸水し、営業車両として使用することが出来なくなった。

2. 身延線の不通になっている区間の、復旧見込み及び対応について明らかにすること。

【回答】 身延線の西富士宮駅から内船駅間については、その後復旧作業が完

了したため 11 月 14 日始発から、運転を再開した。又、内船駅から身延駅間の盛土が崩落し線路が宙吊りとなった箇所については、新たに盛土を作り線路を復旧することにより、来年春の運転再開を見込んでいる。

3. 富士運輸区の勤務体制について明らかにすること。

【回答】 乗務割交番作成規定に基づき、適切に行路を指定している。

4. 富士運輸区では東日本大震災の時と同じく、出勤時に自分の関係する行路表注意表、変更事項一覧表を手渡され、それぞれを組み合わせるとともに関係する変更事項を抜粋し、着発線変更などは時刻表に書き込むなどして出発点呼前に読み合わせを行っていた。これは乗務員が早めに出勤して対応したことにより出来たことである。よって、対応した時間を超勤扱いとすること。
また、上記の作業を乗務員が行わなくても対応できる体制を構築すること。

【回答】 乗務員が対応した時間は、準備報告時間内での作業変更であり、今回のケースについては超過勤務としない。

5. 運転中に抑止された乗務員に対する交代や、食事の手配はどのようにしたのか、また、今後どのようにするのか明らかにすること。

【回答】 従前より、異常時においても乗務員の交代要員手配・食事時間については、可能な限り配慮を行っている。今後とも可能な限りの手配は行っていく。

6. 211系車両にトイレを設置するとともに、すべての車両にブレーキ使用時に散砂出来る装置を搭載すること。

【回答】 そのような考えはない。

7. 今後の防災対策について明らかにすること。

【回答】 今回の台風 15 号に伴う被害は身延線の複数の箇所において発生したものの、従前の規制値において被災する前に安全に列車抑止を完了しており、現行の運転規制取扱は有効に機能したと考えている。今後も可能な限り運休区間・線路点検の状況・今後の運転見通しについて、車掌携帯メール・列車無線による一斉放送により伝達を行い、お客様へ情報を提供していく考えである。

組合：内船～甲斐大島間の盛土崩壊だが、現在の崩壊箇所を鉄橋化などにするのではなく、崩落前と同じように修復するとの理解で
よいか？

会社：そのとおりである。

組合：乗務員が出勤前に対応した作業は、申し入れに書いてある流れ
によって多くの作業を行っている。それでも前回の地震の時と
同様に準備時間内で処理出来たとの認識か？

会社：そのとおりである。

組合：散砂装置は、力行の場合だけ機能する設計としたのは何故
か？

会社：空転防止を想定して設計している。

組合：止める側に、設定した方が安全ではないのか？今回の台風では
塩害による滑走が多発しスキットもひどかった。

会社：今回の事象は想像を超えたレアケースである。

組合：今回の事象だけではなく、通常为天候時においても言えること
である。力行時の空転は車両の機能で対策が取られている。制
動時では、車両側でブレーキ力の調整が行われるが、滑走時を
含めブレーキ距離が延びることになる。

組合：211系にトイレを設置する考えはないのか？

会社：今のところ、そのような考えはない。

組合：以前の申し入れでも要求したが、情報の伝達を出来るだけ細か
く実施すること！

会社：了解した。今後ともきちんとした情報提供が出来るよう会社としても努める。

組合：身延～甲府駅間で車両のトイレが使用出来ないのはサービスの観点からも問題ではないのか？

会社：15日から使用出来るようにした。南甲府駅で汚物処理を行っている。

組合：今回の台風で、身延線中間駅に停車した乗務員の交代手配はあったのか？

会社：富士根駅で、乗務員の交代手配を行った。

組合：今回の事象に鑑み、無人駅のトイレを利用出来るようにはならないのか？

会社：残っているところは使用できる。身延線はトイレ付車両を走らせているので、コストや利用客数を考え、駅舎をコンパクト化する時に無くすという考えである。

組合：今回の台風で、身延線は鉄道設備に甚大な被害があったが旅客及び乗務員に災害が及ばずに済んだことは大変喜ばしい。しかし、一步間違えれば大惨事に繋がる恐れも十分に考えられる。地震と異なり、台風はある程度進路や影響が読めるのであるから、早めに列車を止めて様子を見る対策を実施すること。

会社：現行の規制値で対応することが基本である。必要な事象が生じれば考えるが、今回は想定外の被害があったが、そこに至る前に現行の規制値が有効に機能し、列車を停止したため被害が無

かった。よって、現時点で現行の規制値を上げる考えはない。

組合：落石は無かったのか？

会社：落石の報告は無い。

組合：身延線沿線の山の木が伐採されている。このため保水力が減少し盛土崩壊の要因ではないか？

会社：沿線の状況は定期的に把握し、点検を行っているので必要な対策は取れている。又、切ったために腐ってしまうなど無いように考えているので、切った事により保水力が低下することはない。

組合：14日から始まった内船駅折り返し運転は、順調に推移しているのか？問題は無いか？

会社：いまのところ問題は無い。順調に推移している。

組合：了解。

以上